

林野庁 四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

QGIS 講習会を開催しました

徳島署は、平成28年度から徳島県、三好市、そして三好地区の林業事業体で構成する「ケーススタディ会議」を設置し、民有林と国有林が連携した取組を行っています。

この取組として、QGIS講習会を令和3年2月10日（水）に開催しました。

当日は、ケーススタディ会議メンバーから18名、徳島署から4名、そして、四国局から1名が参加し、計23名の参加となりました。

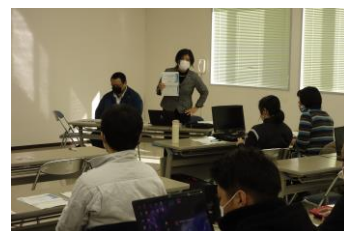
署長の挨拶に続き、講師の四国局技術普及課安藤企画官が、前回ドローン自動飛行現地検討会で取得した空撮データを基に、QGISの基礎的な使用方法を指導しました。

参加者は、初めて使うQGISソフト操作に苦慮していましたが、実際にソフトを使用し、いろいろな活用方法があると判ると、参加者からは「今後も同様の講習会を実施してもらいたい」などの要望が出され、次年度以降も講習会を計画していく予定です。

今後もこのケーススタディ会議を通して、現地検討会を開催するなど地域の課題とその解決に向けた取組を進めてまいります。



講習会挨拶



講習会の様子



講習会の様子



講習会の様子



採取されたシラクチカズラ



掛け替え作業中



渡り初め式典



林野庁長官賞の授与

かずら橋の渡り初め式に参加しました

国指定重要有形文化財の「祖谷のかずら橋」では3年に一度、老朽化による架け替え工事が行われ、その資材は国有林から供給されています。

今回は、近隣である高知県大豊町の国有林より、シラクチカズラの資材約6.5トンが採取され、1月初めより架け替え作業が開始、無事竣工したことから、2月22日に渡り初め式が行われました。

式典は「かずら橋保勝会」の主催により、関係者による神事後、三好市長の祝辞の中では、資材提供について四国森林管理局に対し感謝の言葉などが述べられました。

その後、テープカットの後、関係者が新しくなったかずら橋の仕上がりや感触を確かめながら渡り初めを行いました。

また、当日の式典に先立ち、昨年11月に開催された業務研究発表会において、徳島森林管理署と三好市の共同による、シラクチカズラの採取や増殖活動についてのこれまでの取組を発表し、林野庁長官賞を受賞したことから、署長より発表者へ表彰状が授与されました。

入庁して1年が経ちました

令和2年度採用の有澤です。業務グループで主に土木の係員として業務に取り組んできました。大学では、法律学を専攻しており、林業については右も左も分からないまま入庁しました。また、まともに山に入ったこともなかったため、急勾配の林内での作業は大変でした。

入庁前に考えていた職場のイメージとのギャップが大きく、戸惑うことも多かったように感じます。しかし、この職場に就職していなければ知ることもなかった知識や、経験できなかったこともあり、戸惑いと同時に面白いと感じることもありました。特に、図面上の構造物が実際に出来上がっていく過程を目の当たりにしたときは感動しました。

職場の方々や現場で作業されている事業体の方々からご指導を受けて、知識を身につけ、少しずつですが成長することができました。この一年、関わってくださった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

採用2年目となる令和3年度は、これまで得た知識を生かして、より職場に貢献できるよう研鑽に努めていきたいです。



署内で執務中



林道工事の現場で測量中



現地検討会の受付



シラクチカズラの調査



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林